

取扱説明書

左折巻き込み防止センサー 防水

品番：# 1 1 2 0 9 6 0 0 0 0 型式：BAT 9 0 1

※車両への装着、加工作業を行なう前に、必ず作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。

1, セット内容



2, 仕様

- ・定格電圧：DC 12～DC 24V
- ・定格電流：最大500mA
- ・感知距離：0～150cm
- ・反応角度：100° ± 10°
- ・作動温度：-40～80℃
- ・センサー：超音波式
- ・保護等級：IP69/センサー・外部スピーカー
IP65/コード類
- ・外部スピーカー音圧：97 ± 7 dB

3, 取り付け、配線方法

※図2、3を参考に、本商品を車両へ取り付けしてください。

※安全の為、本商品を取り付ける車両のバッテリー配線を取り外して、作業をしてください。

※必要に応じて、コードを通す穴、センサーを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工をしてください。

※ボディに直接センサーを埋め込む際は、付属のホルソーで穴開け作業を行ってください。

上から

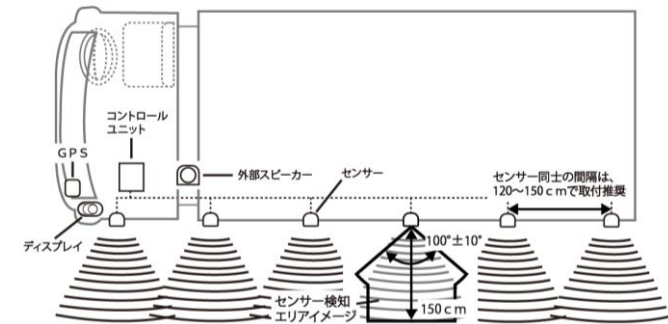


図 2

横から

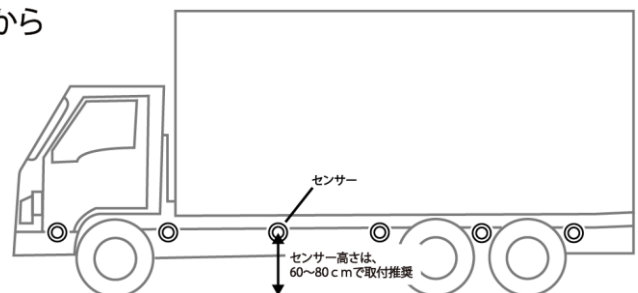


図 3

●センサー・センサー用延長コードの取り付け

- ①センサーの取り付け位置を決めてください。センサーは最大で6ヶまで取り付け可能です。
 - ・センサー同士の間隔は、120～150cmを推奨（図2参照）。
 - ・センサーの取り付け高さは、地面から60～80cmを推奨（図3参照）。
 - ・センサーは車両左側面から飛び出ない位置でかつ、周囲に車両の突起物などが無い位置を推奨（図4参照）。
 上記条件に合うように位置決めし、センサー用L型ステーを養生テープなどで仮固定してください。
- ②センサー用L型ステーの丸穴部分にセンサーの2PINプラグから通し、センサー正面の『△マーク』が真上を向くようにして奥まで押し込んで確実に固定してください（図5参照）。
- ③センサー用延長コードを走行・荷物の積み降ろしなどの作業へ支障をきたさない位置へ取りまわしてください。その際、車内に12PINプラグ【Sensor印】が残るように取りまわしてください。
- ④各センサーの2PINプラグとセンサー用延長コードの2PINカプラ【Sensor1印】から順に接続してください。センサーの使用数が5ヶ以下で、センサー用延長コードに未使用の2PINカプラがある場合は、確実に絶縁処理を施してください。

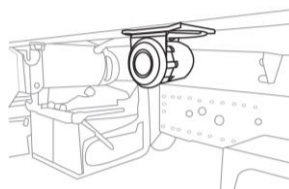


図 4

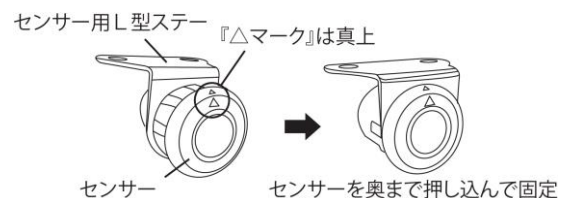


図 5

●外部スピーカーの取り付け

- ①外部スピーカーの取り付け位置を決め、養生テープなどで仮固定してください。
- ②外部スピーカー用コードを走行・キャビンの上げ下げ・荷物の積み降ろしなどの作業へ支障をきたさない位置へ取りまわしてください。その際、車内に6PINプラグ【SPK Connecting line／5m印】が残るように取りまわしてください。
- ③外部スピーカーの6PINプラグと外部スピーカー用コードの6PINカプラ【Connect to SPK port／5m印】を接続してください。
- ④取り付け位置に問題ないことを確認の上、仮止めした外部スピーカーを付属の外部スピーカー用ボルトなどを使用して、車両に確実に固定してください。
- ⑤②で車内に残した6PINプラグ【SPK Connecting line／5m印】と電源コードの6PINカプラ【Outside SPK印】を接続してください。

●ディスプレイ・GPSの取り付け

- ①ディスプレイ・GPSの取り付け位置を決め、取り付け部の油分や汚れをしっかりと拭き取り、裏面の両面テープを使用して取り付けしてください。ディスプレイはAピラー部やインパネ周辺など運転者が確認しやすい位置へ、GPSはダッシュボード上などの水平な場所へ取り付けしてください（図6参照）。
- ②ディスプレイの4PINプラグと電源コードの4PINカプラ【Display印】を接続してください。
- ③GPSのPINプラグと電源コードのPINジャック【GPS印】を接続してください。

●外部スピーカー用スイッチの取り付け

- ①インパネ周辺や車内スイッチの空きスペース部などで外部スピーカー用スイッチの取り付け位置を決めてください（図6参照）。
取り付け位置にφ14mmの穴を開け、外部スピーカー用スイッチの2PINプラグから通し、奥まで押し込んで確実に固定してください。
- ②外部スピーカー用スイッチの2PINプラグ【Outside SPK Switch印】と電源コードの2PINカプラ【Outside SPK Switch印】を接続してください。

●コントロールユニットの取り付け

- ①コントロールユニットの取り付け位置を決め、取り付け部の油分や汚れをしっかりと拭き取り、付属のコントロールユニット用の両面テープ、ボルトナットセットを使用して取り付けしてください。運転、走行の支障にならない助手席側のダッシュボード下などに、確実に固定してください（図6参照）。
- ②『●センサー・センサー用延長コードの取り付け』の③で車内に残した12PINプラグ【Sensor印】をコントロールユニットの12PINカプラに接続してください。
- ③電源コードの16PINプラグをコントロールユニットの16PINカプラに接続してください。

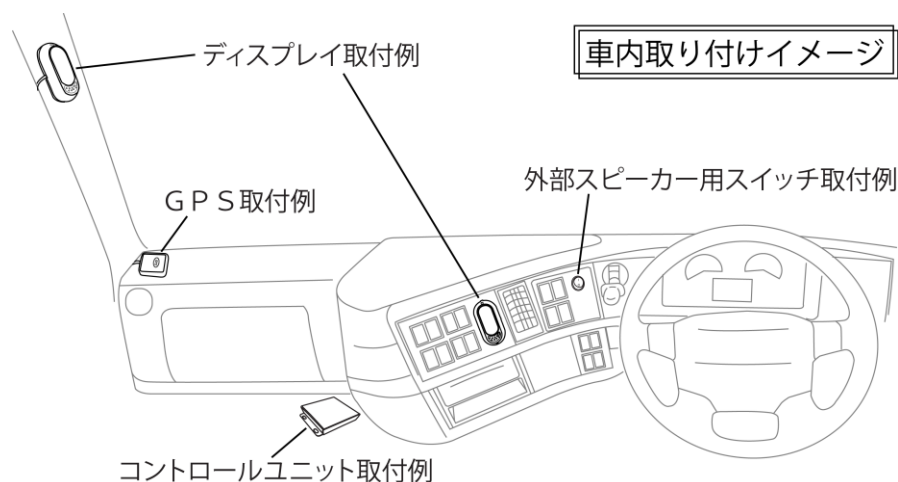


図6

●電源コードの取り付け

- ①電源コードの赤色“ACC”配線をDC12／24V車両のACC配線へ、黒色“GND”配線を陰極（－）配線又はボディアースへ、必ず絶縁処理を施して確実に接続してください。
- ②桃色“Left Trigger”配線を車両の左ウインカースイッチや左コーナーリングランプに連動している配線へ確実に接続してください。接続すると、左ウインカーを出した際に外部スピーカーから『車が曲がります。ご注意ください。』とアナウンスが流れます（詳細は『4, 使用方法 ●外部スピーカー発声とセンサー検知距離の関係に関して』参照）。
- ③橙色“Right Trigger”配線を車両の右ウインカースイッチや右コーナーリングランプに連動している配線へ確実に接続してください。ハザードランプ点灯時に外部スピーカーから『車が曲がります。ご注意ください。』のアナウンスが流れない対策となります。

4, 使用方法

●センサーの本固定

- ①『3, 取り付け、配線方法』の手順通りに取り付け&配線された状態で、車両のエンジンを始動させてください。
- ②センサー検知エリア内に対象物を近づけるとディスプレイに反応があり、対象物を検知エリア外まで離すと反応が無くなることを確認してください。
センサー検知エリア内に対象物が無い状態でディスプレイに反応がある場合、車両の突起物や地面などに反応している場合があります。センサーの取り付け位置を再検討してください。
※あおりを下ろした際にあおりがセンサーに重なる位置へ取り付けすると、ディスプレイや外部スピーカーが反応してしまいます。それぞれ消音可能ですが、その点も考慮しつつ、取り付け位置をご検討ください。
- ③センサーの取り付け位置に問題ないことを確認の上、『●センサー・センサー用延長コードの取り付け』で仮止めしているL型ステーを一度取り外し、付属のL型ステー用ビスなどで車両へ確実に固定してください。

●ディスプレイの表示／車内アラーム発声とセンサー検知距離の関係に関して

- パターン1：車両に取り付けしたセンサーと対象物との距離が『150～91cm』の場合は、ディスプレイは『緑色』に点灯します。
- パターン2：車両に取り付けしたセンサーと対象物との距離が『90～61cm』の場合は、ディスプレイは『オレンジ色』に点灯します。
- パターン3：車両に取り付けしたセンサーと対象物との距離が『60～0cm』の場合は、ディスプレイは『赤色』に点灯します。その際、工場出荷状態ではディスプレイから『ピーー』と車内アラームが鳴ります。
- ※車内アラームが不要の場合は、ディスプレイのスイッチを短く押すと消音することができます（図7参考）。
- ※車内アラームの発声するポイントを変更する場合は、ディスプレイのスイッチを長押ししてください。長押しするたびに『パターン1での発声』⇒『パターン2での発声』⇒『パターン3での発声』⇒『パターン1での発声』…の順に発声のポイントを切り替えることができます（図7参考）。



パターン1：センサーと対象物との距離が『150～91cm』の場合『緑色』に点灯。

パターン2：センサーと対象物との距離が『90～61cm』の場合『オレンジ色』に点灯。

パターン3：センサーと対象物との距離が『60～0cm』の場合『赤色』に点灯。
工場出荷状態では『ピーー』と車内アラームが鳴ります。

- ・車内アラームが不要の場合は、スイッチを短く押すと消音します。
- ・車内アラームの発声するポイントを変更する場合は、スイッチを長押ししてください。
長押しするたびに『パターン1での発声』⇒『パターン2での発声』⇒『パターン3での発声』⇒『パターン1での発声』…の順に発声のポイントを切り替えることができます。

図7

●外部スピーカー発声とセンサー検知距離の関係に関して

- パターン1：『3, 取り付け、配線方法』の手順通りに取り付け&配線された状態で、左折ウインカーを出すと外部スピーカーから『車が曲がります。ご注意ください。』とアナウンスが流れます。
- パターン2：車両に取り付けしたセンサーと対象物との距離が『40cm以内』まで近付くと、外部スピーカーから『車が通ります。ご注意ください。』とアナウンスが流れます。
- ※外部スピーカーのアナウンスが不要の場合は、外部スピーカー用スイッチを『I』から『O』に切り替えてください。外部スピーカーを消音することができます。
- ※外部スピーカーは、時速30km/h以上で走行時にはマナーモードとなります。仮に時速30km/h以下で車線変更を行う場合は、左折ウインカーに連動してアナウンスが流れます。
- ※本商品の速度表示と実車の速度メーターの表示で、誤差が発生する場合があります。予め、ご了承ください。

5, 使用上の注意事項

- 以下のように使用すると誤作動する場合があります。
 - ①センサーに泥や雪などが付着した場合。
 - ②砂利道、凸凹道、坂道、草むらなどで使用した場合。
 - ③高温（80℃以上）や低温（-40℃以下）で使用した場合。
 - ④豪雨や強風で砂埃などが巻き上がっている場合。
 - ⑤超音波、無線機の電波、電磁ノイズなどの外来ノイズ（EMC）を受けた場合。
- センサーに強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- 洗車のあとは、センサーの破損や剥がれがないか確認し、正常に作動することを確認してからご使用ください。

6, 注意事項

△危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、または重傷を負う事になるもの。）

- ①本商品の各構成部品、**配線、コードは運転、走行の支障にならない位置に、確実に固定**してください。配線、コードがブレーキペダルに絡まり、事故の原因になります。
- ②**道路運送車両法を遵守**して、本商品の取り付け、使用を行ってください。

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、または重傷を負う可能性のあるもの。）

- ①本商品は運転の補助装置として車両左側障害物の存在を知らせるもので、運転者の注意義務を軽減するものではありません。左折時は車両左側、周囲の安全を十分確認してください。また、本商品を使用中に発生した事故に対し、本商品の動作の有無に関わらず、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ②**配線の絶縁不良、劣化等が無いかを定期的に確認**してください。また、**配線の結束、絶縁は確実**に行ってください。ショート、火事の原因になります。
- ③分解、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常作動を起こす恐れがあります。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、また、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ①必ず、**車両のエンジンを停止させてから、取り付け**作業を行ってください。
- ②センサーと外部スピーカーの保護等級は『IP69（●防塵：塵埃に対する完全な保護。●防浸：高温、スチームジェット洗浄の環境下でも有害な影響を受けない）』、センサー用延長コード、外部スピーカー用コードは『IP65（●防塵：塵埃に対する完全な保護。●防浸：あらゆる方向からの噴流水による有害な影響を受けない）』です。それ以上の環境では使用しないでください。また、その他の各構成部品は非防水です。必ず、水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。
- ③本商品のセンサー検知距離は、センサーと障害物などの対象物との距離です。取り付け後、必ず感知・警告範囲を確認してからご使用ください。
- ④本商品の動作確認を長時間行くとバッテリーが消耗してしまいます。ご注意ください。
- ⑤本商品に破損箇所が見受けられる場合、使用を中止してください。
- ⑥センサー検知距離の確認は、車を動かさず、対象物を車に近づけてください。事故の原因になります。
- ⑦本商品は自動車用の左側障害物感知・警告装置です。それ以外の用途には使用しないでください。
- ⑧定期的にセンサーのレンズカバーを柔らかい布等で拭いて、汚れを取り除いてください。センサーの感度が低下します。
- ⑨清掃の際は、ガソリン、ベンジン等の薬品を使用せず、カーシャンプーや中性洗剤を使用してください。
- ⑩万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
- ⑪使用環境（天候など）によっては、センサーが誤作動する恐れがあります。

